

令和元年度四国地区ブロック会議（i n 高知）開催報告

麻布大学同窓会四国ブロック会議は、四国4県の持ち回りで、毎年四国地区獣医師学会の前夜（獣医師大会）に開催されます。今年は、高知支部が当番県で9月7日（土）高知市「三翠園」にて、四国地区会員31名と同窓会本部より福山会長と浅利学長をお招きし開催された。学会が第70回記念ということで、懇親会は、他大学と同席で行われ「何時もの同窓会ではない」と賛否両論があった。また、福山会長から農林水産省での豚コレラ対策に係るリアルなやり取りの話等が聞け、最前線での職員（先輩）の苦悩振りが窺えた。

ブロック会議では、浅利学長からの大学の近況報告の中で、環境循環型社会の実現に向けて大学では生命・環境科学部の拡充を図っていく話があった。評議員については、香川県選出が2期（8年）を満了することから、次県案について話し合われ「四国の意見」を麻布獣医学園評議員会で提言して行く重要性から「再任を妨げない」ことが決議され、全会一致で香川県の続投が決定した。理事については、愛媛県が会員の100名枠から代議員を2名選出することが出来ることより、もう一人の理事を他三県で回して行くことが決まった。学術委員の選出についてはローテーションどおり、次年度は愛媛県と決定した。また、四国の4県とも同窓会会員数が減少傾向にあり、増員のためにより一層の卒業生の発掘・勧誘に努めなければならない。この対策として、各支部の準会員（大学生）の県人会を通じた同窓会へのアプローチや他学科の卒業生の入会等が検討された。

高知県の宣伝：「リョーマの休日」<https://kochi-experience.jp/>

（高知県支部事務局）

